



地域活性化するための 人材育成はどうなっているか

坂田 容子 議員

問 筑後市では校区コミュニティの取り組みの検討がなされている。住民が主体的に自らの判断で地域づくりを行える環境を整備するための、地域リーダーの発掘、育成、活用は重要であるが人材育成はどうなっているか。

社会教育部長

地域で活躍

していくための基本的な学習、ノウハウを身につける生涯学習まちづくりリーダー養成講座を実施している。まちづくり課と一緒に人材発掘、活躍の場の提供をし



ボランティアによる図書室入り口付近の飾り付け (サンコア)

(編集部注) 閉架書庫とは

書架が外部からの閲覧者に公開されてない書庫で、専門書や貴重な資料の収集、保管を行うもの。

ネットワーク化等、今後検討しなくてはと思う。

問 筑後市には図書館がない。高度情報社会において、多様化、市民のニーズに応じた情報、サービスを正確かつ迅速に提供することは必要である。中央公民館図書室における図書館の推

図書行政の推進が もつと必要では

ていくことになると思う。
まちづくり課長 地域の中で知識や技術とかを持つている人に校区コミュニティを立ち上げる部分から加わってもらえる環境づくりに取り組みたい。

中央公民館事務長

専門知識を有した嘱託職員とボランティア団体との連携によるサービスが拡大され、本の利用状況も大幅に増加。祝日開館、夜間開館、閉架書庫資料の活用、学校との

進状況、今後の課題、充実するための施策を問う。
市長 図書館建設は市民との約束であるので厳しい財政状況でも何か対応の方法がないか考えている。
公募による図書室長のバ

イタリテイ、市民委員会からの助言、進言、提言等を受け、積極的に今後も推進していきたい。

平成21年度予算編成は 住民負担増か

中富 正徳 議員

問 予算編成の基本的方向性及び歳入の確保、見込みは。

総務課長 考えられるものとして、衛生センターの全面委託、サンコアの運営形態の見直し、地域包括支援センターと各種高齢者の相談業務の民間への移行、市立病院経営形態の見直し、人件費の部分では学校給食、労務現場の正規職員不補充等の検討がある。

問 予算編成は市民が主役型で

市長 地域のこと自分たちでやっていくという仕組みからすれば、方向としては当然そういうことになっていくだろう。

市長 基本的には10年間の総合計画(マスタープラン)に一步でも近づけることである。税財源の拡充は現時点では非常に厳しい。
総務課長 法人税、個人住民税等の落ち込みは間違いない。では具体的に税収減がどの位かは予測できていない。ただ歳入が急激に落ち込んで、その穴埋めのために21年度に住民負担を増やすことはない。

市長公室長 毎週水曜日は残業をしない日になっている。本年の4月から10月までの時間外勤務の状況は、消防・病院を除き約2,000時間減、金額的に500万円位削減している。健康管理面からも削減が必要であり、引き続き努力する。

時間外勤務削減は 健康管理面からも必要

問 歳出抑制の新たな具体策は。

市長 私どもの小さな地方政府の一番の目標は人件費削減である。着実に5年間で40人の職員削減、20億円減の約束を実現しているところである。



運営形態の見直し検討対象のサンコア